※令和４年度以降入学生用

学校番号	204

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高校生の音楽Ⅰ」　（教育芸術社）						
副教材等	プリント、観賞用ワークシート						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歌うこと＝歌唱、楽器による演奏＝器楽、音楽をつくること＝創作、これら三点による「表現」、及び音楽を聴くこと＝「鑑賞」について、年間通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価します。
・音楽の学習は、受講者とともに実際に音を出し、聴き、試してみてこそ価値あるものとなり、そうした体験を通して感性が豊かになります。
・音楽がみなさんの心の支えとなり、人生の一部となることを願っています。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに，創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
感性を高め、自己のイメージを基に創造的な音楽表現を創意工夫することや，音楽を評価しながら、そのよさや美しさを自ら味わって鑑賞する能力を身に付ける。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み，音楽文化についての理解を深め、生涯にわたり音楽を愛好する心情を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景等との関わり及び音楽の多様性について理解を深めている。 ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作などで表している。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すのか表現意図を持ったり、音楽を評価しながらその良さや美しさを味わって聴いたりしている。	・音や音楽、音楽文化と豊かに関わり、主体的･協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	イメージをもって豊かな声で歌いあげよう！～出会いのうた～	【歌唱】 校歌 翼をください ひまわりの約束 夏の思い出	a:知識 曲想と歌詞との関わりについて理解している。 技能 創意工夫を生かした歌詞表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、体の使い方などを身につけ、歌唱で表している。 b:音色、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 c:正しい発声法を身につけて表現を創意工夫することに関心を持ち、主体的･共同的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート 演奏の聴取
	アンサンブルを楽しもう	【リズム】 音符･休符の基礎知識 リズムコピー 手足を使ったリズム打ち	a:知識 曲想とリズムとの関わりについて理解している 技能 創意工夫を生かした表現をする為に必要な、他者との調和を意識して演奏する技術を身につけ、演奏で表している。 b:音色、リズム、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 c:リズムパターンの変化と曲想との関わりに関心を持ち、主体的･協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート 演奏の聴取
	鑑賞のファーストステップ～音楽を聴く力をつけよう～	【鑑賞】 トムとジェリーと音楽	a:知識 各楽器の音色、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。 b:各楽器の音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に体する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聴いている。 c:「トムとジェリー」それぞれの音楽に関心を持ち、主体的･協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート	観察 ワークシート	観察 ワークシート
2学期	旋律の美しさや言葉の響きを感じ取って歌おう	【歌唱】 さびしいカシの木 A Whole New World	a:知識 言葉の特性と曲種に応じた発想との関わりについて理解している。 技能 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技術を身につけ、歌唱で表している。 b:リズム、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 c:英語による歌唱や曲の雰囲気を生かした表現に関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート 演奏の聴取

※令和４年度以降入学生用

2学期	アンサンブルを楽しもう	【リズム】 リズムのロンド	a:知識 曲想とリズムとの関わりについて理解している 技能 創意工夫を生かした表現をする為に必要な、他者との調和を意識して演奏する技術を身につけ、演奏で表している。 b:音色、リズム、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 c:リズムパターンの変化と曲想との関わりに関心を持ち、主体的･協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート 演奏の聴取
	現代生まれの日本の古典・創作歌舞伎	【鑑賞】 歌舞伎:嵐の夜に	a:知識 我が国の伝統音楽とその特徴､及び様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。 b:音色、リズム、旋律、テクスチュア、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聴いている。 c:歌舞伎の構成、舞台装置、演出などに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組んでいる。	観察 ワークシート	観察 ワークシート	観察 ワークシート
3学期	箏を使用して、箏曲風の旋律を作ってみよう	【創作】 平調子、乃木調子を基に、指定されたリズムで、旋律をグループで創作	a:知識 指定された調子から感受したイメージに基づきながら、表したいイメージとかかわらせて理解している。 技能 創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復や変化などの手法を活用して音楽を作る技能、及び、旋律を作ったり、作った旋律に副次的な旋律を加えるなどの技能を身につけて、創作で表現している。 b:音色、リズム、テクスチュア、を知覚し、それらの働きを感受しながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 c:イメージと音楽との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート	観察 ワークシート	観察 ワークシート
	鑑賞のステップアップ ミュージカルの魅力を探ろう	【鑑賞】 「ウエストサイドストーリー」より	a:知識 音楽の特徴と文化的･歴史的背景との関わり、及び様々な表現形態による歌唱表現や器楽表現の特徴について理解している。 b:音色、リズム、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽の良さや美しさを自ら味わって聴いている。 c:《ウエストサイド　ストーリー》に描かれている社会問題や登場人物の心情に関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート	観察 ワークシート	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度